

英国のダイバーシティ推進施策 「30%クラブ」と女性役員比率

英国「30%クラブ」とは

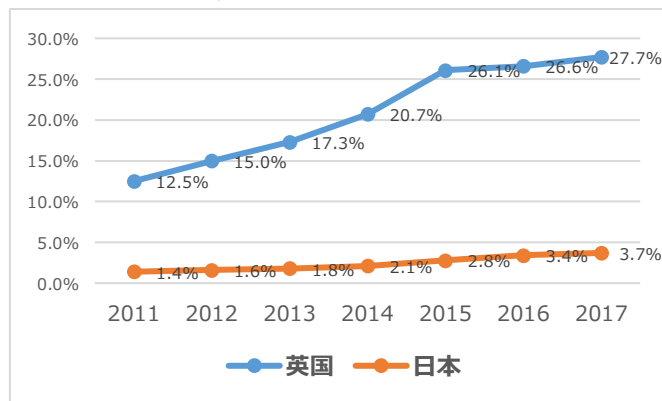
英国では、2010 年、女性役員比率 30%を目指す非営利組織「30%クラブ」が発足し、国際的にその重要性が問われている経営の意思決定におけるジェンダーバランスの是正が図られています。

「30%クラブ」は、英国の投資ファンドの CEO であるヘレナ・モリシー氏が、女性活躍を支援し取締役会のダイバーシティを推進するために立ち上げました。同クラブは 2020 年に女性役員比率を 30%にすることを目標にしています。

「違う人生の経験や考え方を持っている役員を招聘することで、気づきの多様性が広がり、企業が危機に陥ろうとしている兆候を無視するような「集団思考」を防止するのに役立つ」と彼女は述べています。

英 FTSE100 企業の女性役員比率は 2011 年の 12.5%から、2017 年には 27.7%と、6 年間で+15.2 ポイントも高まっています。

【英 FTSE100 企業の女性役員比率推移】



(内閣府 HP、Hampton Alexander review(2017)より当行作成)

日本では、2013 年に安倍総理から経済界へ「全上場企業において積極的に役員・管理職に女性を登用し、まずは役員に一人は女性を登用する」よう要請があり、2020 年に 10%を目指すとの成果目標が掲げられていますが、2017 年は 3.7%、2018 年でも 4.1%という状況です。

英 FTSE100 企業の女性役員比率

英 FTSE100 企業の女性役員比率は 2010 年の 12.6%から、2018 年には 28.9%と、8 年間で+16.3 ポイントも高まっています。

【英 FTSE100 企業の女性役員比率上位 10 社】

順位	企業名	業種	女性役員比率
1	ネクスト	ファスト・ファッション・ブランド	44.4%
2	セヴァン・トレント	上下水道会社	44.4%
3	ディアジオ	ギネスビール、ジョニー・ウォーカー等酒造メーカー	44.4%
4	ウィットブレッド	「プレミア・イン」ブランドのホテルチェーン	44.4%
5	キングフィッシャー	DIY 店等英最大の小売チェーン	44.4%
6	マーリン・エンターテインメント	「レゴ・ランド」等を展開する欧州最大のエンターテインメント企業	44.4%
7	オールド・ミュチュアル	総合金融機関	41.7%
8	グラクソ・スミスクライン	グローバル製薬企業	41.7%
9	インターコンチネンタル・ホテルズ・グループ	多国籍ホテルグループ	40.0%
10	スコティッシュ・モーゲージ・インベストメント	投資会社	40.0%

(Hampton Alexander review(2017)より当行作成)

2017 年 6 月時点での英 FTSE100 企業のうち女性役員比率の高い上位 10 社です。リテールやホテル、レジャー関連企業が上位となっています。

30%に達している企業は 100 社中 43 社、女性役員比率が最も低いロンドン証券取引所グループでもその比率は 9.1%、女性役員がいない企業は存在しなくなりました。

英国と日本のコーポレートガバナンス・コード

ジェンダーや民族のダイバーシティは、ブレグジットの背景のひとつとも考えられる格差解消のための重要な取り組みであり、企業におけるダイバーシティの取り組みを推し進めるため、英国のコーポレートガバナンス・コードにおいても改訂がなされています。

「取締役会の定期的評価は、そのスキルや経験、独立性および知識、ダイバーシティなど、役員が目標達成のためにどれだけ実効性を持って協働できるかを考慮すべき」としています。

日本においても、2018 年のコーポレートガバナンス・コード改訂において、「取締役会は、その役割・責務を実効的に果たすための知識・経験・能力を全体としてバランス良く備え、ジェンダーや国際性の面を含む多様性と適正規模を両立させる形で構成されるべきである」と定めています。

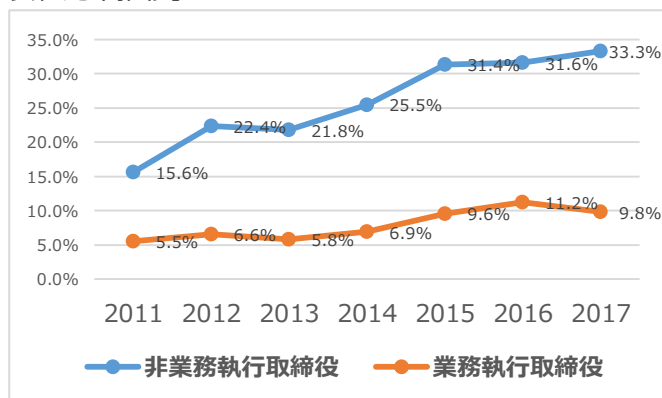
英国の女性役員の実態

今のところ、日本と英国では女性役員の割合に大きな開きがありますが、英国の女性役員の実態を見てみたいと思います。

英国では、FTSE350 採用企業は少なくとも取締役会の半数は非業務執行取締役でなければならないとの定めがあります。

非業務執行取締役は、原則として日々の業務執行権限はなく、業務執行にあたる代表取締役等の独断専行を牽制・抑止し、取締役会における業務執行の意思決定及び取締役の業務執行の監督に積極的に参加する役割を担います。

【英国の女性役員の業務執行取締役・非業務執行取締役の女性比率推移】



(Hampton Alexander review(2017)より当行作成)

非業務執行役員の女性比率は 2011 年の 15.6%から 2017 年には 33.3%と急速に拡大していますが、業務執行取締役の同比率は 2011 年の 5.5%から 2017 年には 9.8%となっていますがその伸びは緩やかで、2016 年の 11.2%からはやや縮小してしまっています。

FTSE100 企業の女性 CEO の人数も、2011 年は 5 人、2017 年は 6 人と大きくは増えているわけではありません。

まずは社外から非業務執行取締役を招聘し、業務執行取締役へと育成していく意図があるものと考えられますが、その育成にはどうしても時間がかかることが要因にありそうです。

日本と比較すると、女性役員は大きく伸びている英国ですが、取締役の構成を見ると、次の課題も見えてきます。

以上

本レポートは情報提供のみを目的として作成したものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。
ご利用に関しては、すべてお客さま自身でご判断くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。
本レポートは信頼できると思われる情報に基づいて作成していますが、当行はその正確性を保証するものではありません。
本レポートのご利用によりお客さまがいかなる損失、損害を受けられても当行は一切の責任を負いません。
本レポートはお客さま限りでご利用くださいますようお願いいたします。